

**各部会における協議内容の報告**

結婚・子育て支援部会	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
ワークライフバランス推進部会	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
若い世代部会	・・・・・・・・・・・・・・・・	5

**1. 少子化対策全般について**

- ・高知県民が持ちたい子どもの数について、理想の人数においても、その数が減っている。子どもを3、4人欲しいという人を増やさないと、人口は増えない。
- ・経済的な理由で持ちたい子どもの数が減るのは今に始まったことではないが、若年女性が高知県から出て行く理由について、原因をしっかりと把握すべき。

**1. 男性の育児休業の促進について**

## 【父親の育児参画について】

- ・いろんな行事に父親が参加するというのには目に見えて増えており、子育てに父親が参画していると実感している。
- ・県内企業のリクルート系の取材では、男性の育児休業について話題にのぼる。若い男性ほど、固定的性別役割分担意識も低いと思う。
- ・子育て世代の人にいろいろと話を聞いてみると、一般企業では男性が長期で休むのはなかなか難しいと感じる。

## 【男性が育休を取得した時の過ごし方について】

- ・男性が育休を取得してから、家庭で何をするのか、その辺りについても男性の理解の促進がなされると良い。
- ・子どもを遊ばす場所がないということをお母さんは危惧しており、父親も同様の課題を抱えるのではないか。
- ・育休を取得したとしても、どのように過ごすかや、子どもをどこに連れて行くかは課題。
- ・妊婦教室にご夫婦で参加することが増えている。男性が育児休業の期間を長く取得すると、奥様側が負担を感じ始める場合もあり、夫婦で役割分担を話し合うことが大切だと思う。

## 【保育所や幼稚園で働く職員の現状について】

- ・保育所は週66時間開所のため厳しい人員配置となっており、保育現場には、限界が来ている。保育士にも家庭があり、現場にしわ寄せが来ている状況。
- ・男性職員が育休を取得することに理解はあるが、現場として厳しい状況。
- ・時短勤務の裏では、フルタイムの人たちの時間外が激増している。

## 2 女性の活躍の場の拡大について

### 【女性の活躍全般について】

- ・デジタルスキルを身につけて収入を上げるのには時間がかかる。  
また、子育てに家事にと頑張っている女性が、追加で新しいことをやっていくのは時間的、経済的にもいっぱいいっぱいではないか。金銭的、労力的にも、家事代行を支援・拡充していくことも必要だと思う。
- ・女性の商工会議所での管理職の数は県外と比べると少ない。若手の女性職員に対して、将来を見据えた育成が必要。
- ・取材などを通して、建設業などで女性が活躍している場が増えていることを実感しており、女性の活躍をPRすることで新たな人材の確保につなげる企業も増えていると思う。

### 【周産期医療について】

- ・中山間地域にも女性の働く場を増やすということは、そのエリアでお産をできるようにするなど、周産期医療に関する課題が出てくる。  
安心してお産できる場をどう確保できるかが課題であり、それは、県外から高知に移住する方々にとっても課題となる。

### 【長時間労働となっている職場について】

- ・学校現場では、臨時教員の不足の課題がある。  
教職の魅力向上に加えて、学校現場や教育委員会が連携して、労働環境がブラックと言われないよう、改善が必要。
- ・正規職員の時間外労働が増えていることもあり、採用試験をしても応募がないこともある。  
保育の現場が魅力的だという発信も必要で、自分たちでも行動する必要がある。

## 1. 少子化対策全般について

- ・とにかく出生数をなんとかしないと、小学校も保育園も幼稚園も持たない時代になる。出生数増という対策を明確に打ち出し、県民に呼びかけるような方法も必要なのではないかな。
- ・結婚までのマッチングの取り組みも含め、それぞれの局面で改善に取り組み、全体として総合的に対応する必要がある。
- ・高知家の家族がゆくゆく50万人になっていく。高知家のみなさんに認識してもらわなければならないが、悲観することなく、明るいエピソードの積み重ねで良い結果が出てくると思う。将来に夢を持っていくこと。そういう夢があるところには、若い人も集まり、結婚したいと感じ、出産もしたいと思うのではないかな。

## 2. 子育てしやすい職場環境について

### 【実施している取り組み】

- ・社内で子育てサークルを作りたいという要望があり、昨年の秋に立ち上がった。従業員の家族同士が事前に顔の見える関係性を作れると、いざという時や、何かの時に支え合えるのではないかな。
- ・今年度、時間単位有給休暇を導入した。子どものお迎えや、学期末の懇談などで社員に活用してもらえており、今後も制度の充実を図っていききたい。

### 【働きやすい職場に必要なこと】

- ・女性が働き続けるためには、ワークライフバランス、子育てをしやすい環境づくりが大事。目に見えた結果は見えにくいけど、取り組んだ施設は離職率が下がったというところもある。
- ・「こどもまんなか社会」の実現やこどもの最善の利益を考えるのであれば、こどもが幸せに生活できる環境を第一に考えて、労働時間の短縮等が必要。各業種、各団体が足並みそろえてやっていくべき課題だと思う。
- ・生徒の就職や進学に際し、ライフプランについてのキャリア教育を行っているものの、実感が伴わないのかもしれない。生徒からは「土日休めて残業がないところ」という声も聞いた。それぞれの希望に応じた働き方を示せば良い。
- ・人手不足もあり、会社を変えていこう、情報発信を積極的にしようという会社側の意識の変化もある一方で、育休等で休みを取る職員の代替要員を確保できず、既存の職員が負担を抱えているという相談もある。
- ・子育てしやすい職場環境に関して理解はできても、零細企業等は、限られた人員でやっている。実態を見ていただき、そこを支える支援が必要。支援と意識の変化とで、企業の行動が変わるのではないかな。

- ・出産・育児への具体的な支援が子育て世代から求められているということもあり、それらを押し進めていくにも原資が必要なため、公的な後押しは欠かせない。
- ・勤務時間が長く、土日にも仕事の対応をしなければならぬ等、そうしたことがあると家庭生活が成り立たない。また、男性が子育てをするために休みを取ったり、時短勤務を利用することに抵抗を示すような会社があると、高知のこどもは増えないというくらいの認識を持たないといけないのではないか。

### 3.女性の活躍の場の拡大について

#### 【女性の活躍全般について】

- ・「男性が何をする社会にしたいか」という視点も重要。都会ではなかなかできないが、高知ならできることを打ち出すなどすれば、高知で子育てをしてみようと思える人もいるのではないか。
- ・女性がやりたい仕事ができるためには、確かな学力を身につけることが重要であり、そうすれば自分で仕事をつくることもできるようになる。どういうビジョンを描きたいのか、教育現場と共に動くことも必要。

#### 【女性が活躍できる職場について】

- ・一次産業や建設業について、本当に女性がその分野で働くことを望んでいるのか、女性の意見を聞きながら取り組みを進めるべきだ。
- ・女性の活躍の一次産業分野などへのさらなる進出について、その分野について専門的に学んだ女性のうち、そうした分野に進みたいという人にとっては、働きやすい環境を整えると就労促進に向けた効果があるのではないか。

## 【若い世代部会報告】

### 主催事業について（座談会及び異業種交流会）

令和5年度は、県内在住の若者の「出会い・結婚」に関する等身大の考えを知事らと語り合う「座談会」を初開催するとともに、多様な業種の独身者が出会いと交流を楽しめるイベントを昨年度に引き続き実施した。

令和6年度についてのこの2つの事業を継続して開催することとする。

### ○1. 令和5年度事業報告（座談会）

#### 【開催日・会場】

令和5年9月4日午後3時～3時半 高知城ホール 中会議室

#### 【参加者】

県民会議側（4名）

- ・高知県商工会議所連合会会頭 西山 彰一
- ・高知県知事 濱田 省司
- ・高知県市長会 副会長 板原 啓文（土佐市長）
- ・高知県町村会 会長 池田 三男（津野町長）

県民参加者（8名）

- ・県内在住の20代から40代の未婚者（女性5名 男性3名）

#### 【座談会内容】

参加者の若者から、異性との出会いの場が少ないこと、相手に関心を持つには継続性のあるイベントが望まれる事などが伝えられた。また、結婚に対して、自身をとりまく経済状況や社会的な不安等があることも語られた。

県民会議の諸先輩方からは、パートナーのいる生活の素晴らしさなど、さまざまな実体験に基づく前向きなアドバイスがなされ、参加者からは、今後の出会いや結婚についてより前向きになれたとの声が寄せられた。

### ○令和6年度の「座談会」について

#### ◆テーマ

「出会い」「結婚」

#### ◆県民参加者

大学・専門学校、若い従業員のいる企業などで部会員が意見交換を実施し、各年齢層（20-40代）や属性（独身・既婚・子育て中など）から、座談会に参加いただく代表者を選出する。

#### ◆アウトプット

令和5年度の開催方法を踏まえ、総会後に西山会長らとの意見交換を実施する。

## ○ 2. 令和5年度事業報告（異業種交流会）

### 【イベント名】

スポーツ&BBQ コン 〜めっちゃ盛り上がる!? 肉と運動会の宴〜

### 【開催日】

令和5年11月23日（木・祝日）13:30～20:00

### 【会場】

高知県立体育館補助競技場、高知大丸屋上「バーベキューパラダイス」

### 【参加者】

20歳～おおむね45歳までの独身男女

### 【参加者数】

男性24名／女性16名 40名（※参考 令和4年度は34名）

### 【参加費】

3,500円／人（BBQの飲食代金として参加者の実費負担）

### 【異業種交流会内容】

継続的な交友関係の維持につながることを目的に、運動会とBBQを実施した。運動会では、初対面の参加者が打ち解けられるように、部会員が、各組のリーダーとなって、参加者同士の交流を促した。また、BBQでは、時間を区切って参加者にテーブル移動を促し、他チームの参加者とも交流する機会を創出した。

## ○ 令和6年度の「異業種交流会」について

### ◆ 内容

2年間実施してきた「スポーツ&BBQ」の内容で、引き続き実施する。

### ◆ 運営の改善点

- ・ 共通の話題で盛り上げられるようなチーム分けをする。
- ・ 異性との交流に消極的な参加者もいるため、部会員が世話役を務める。

### ◆ 開催日

翌日が休みの日の方がその後の繋がりも深まるため、土曜日に開催する。

以上